

乗鞍山スキー報告

【山城】北アルプス・乗鞍岳

【日程と天気】2015年5月30日晴れ

【メンバー】CL 菊池・池田・薄井

【行程】乗鞍観光センター7:30ーバスー位ヶ原ー大雪溪下肩の小屋口バス停ー稜線ー乗鞍岳山頂ー朝日岳と蚕玉岳の間の稜線ー滑走ー道路ーバス停で大休憩ー位ヶ原山荘ーバス 13:25ー観光センター

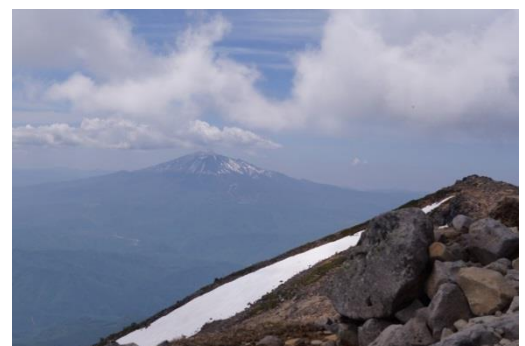


・板納めの時期は1 昨年の鳥海山、昨年の乗鞍岳ともに「しぶとく」「しつこく」6月29日まで延長できたが、今シーズンは雪消えが早く、5月30日にきっぱりと乗鞍に板納め宣言をしてきた。

・千葉の我が家を2時40分に出発、乗鞍観光センターに7:00に到着7:30の始発便はいつもより少なめの110名ほどで3台の始発バスが運行された。雪消えの早い今期は例年より早く大雪溪下、肩の小屋バス停まで運んでくれたため、山頂までは比較的楽に到達できた。雲がやや多いが絶好のツアー日和、振り返ると穂高連峰もくっきり、雷鳥のつがいも迎えてくれた。

・快調な若い二人のシール登高にはついていけず、かなり後方から景色を楽しみ。写真撮影しながら稜線に向かったが、後半の急斜面はシールが効かず、アイゼン登高に切り替え

た。エントリーポイントに板をデポし山頂に到達、噴煙たなびく御嶽山、穂高連峰の雄姿を楽しみ記念撮影した。



・滑走はいつもの朝日岳と蚕玉岳の間の稜線から、適度に緩んだ急斜面はまあまあの快適さ、途中、岩頭が出ている狭い部分もあり、慎重にスピードコントロールしながら下った。下部に行くほど、縦溝と凹凸が激しく、重い悪雪に難儀したが、標高差わずか 300m の滑走にもかかわらず、疲労感はかなりであった。道路に達して、100m ほど歩いてバス停で大休憩。いつもは登り返してもう一本は滑るが、今回はカップヌードルやドリップコーヒーをまったり楽しみ、位ヶ原山荘に向かった。

・位ヶ原山荘へのルートも縦溝が多く、快適滑走とは言えない。富士見岳からの斜面は快適そうであるが、登り返して滑る気力もなく、早々と山荘に到着した。無事に半年にわたる山シーズンの終了を祝って、一人生ビールで乾杯させていただいた。

・山スキーシーズン後半の残雪期 4 回ほどご同行下さった池田さん・薄井さんに大感謝で

す。来期もよろしくお願いたします。

